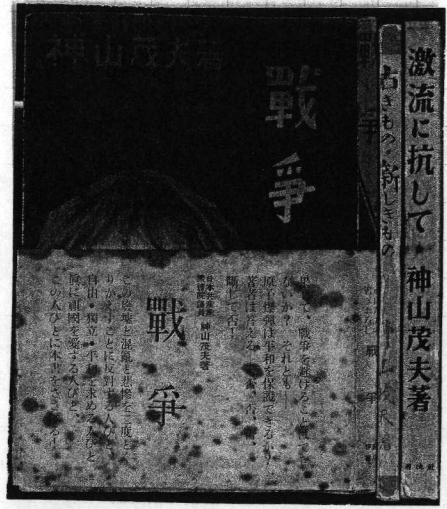


神山茂夫 （執筆） 評論家。明治二十八年二月一日山口縣生れ、昭和四十九年七月八日没（一九五一年）。筆名上原清二、北巖次郎。成城中學校卒。昭和四年日本共産黨入黨、翌年全協刷新同盟を組織、十六年檢舉、二十四年衆議院議員と翌年八歳追放、二十九年黨除名、三十二年復黨と三十九年再除名、次々志賀義雄等と日本のこと結成を四十一年脱退。著作八十餘の頁あり。

著書『祖國を愛する道』（昭和二十一年九月十日岩崎書店）、『人民的民主主義の諸問題』（昭和二十二年十一月、千白同友社）、『古きもの・新しきもの』（昭和二十二年一月、千白社會書房）、『愛と闘いと』（昭和二十二年七月五日思潮書林）、『野呂宗太郎の回想』（合著・大學新聞連盟編、昭和二十二年七月、千白大學新聞連盟出版部）、『批判 論叢現代知識階級論』（合著、昭和二十二年九月十日批判社）、『民族・階級・獨り』（昭和二十二年九月、千白岩崎書店）、『日本に於ける革命運動の基本問題』（昭和二十二年十一月、千白民主評論社）、『激流に抗して』（昭和二十四年一月十日潮流社）、『戦争』（昭和二十四年六月十五日岩崎書店）、『知識人の探求―新らしい市場と方向』（合著、昭和二十四年七月、千白河出書房）、『暴力と共産主義』（昭和二十四年十一月、千白書房）、『國家家理論』（昭和二十五年五月、千白岩崎書店）、『岩崎眞理叢書』（『戦争』）、『渾身の抗して―滿洲事變下の日本の革命運動』（昭和二十九年二月十五日青木書店「青木文庫」）、『除名



さのけた私の道言「日本革命前進のため」(昭和二十九年十一月)  
 『創経社』、『解説・日本革命』スターリン批判の後の新課題(公刊)  
 『公刊』(昭和二十一年と二十二年の自由國家)刊。